



# 東京多摩プロバスニュース

第 83 号 2019. 3. 6

■事務局: 〒206-0021 東京都多摩市連光寺 3-31-3 滝川方 ■編集・発行: 広報委員会  
■電話・FAX (042) 372-2238 ■URL: <http://www.tokyo-tama-probusclub.com>



## 未来のために多摩の創生、再生を!

### 第 175 回 定例会

日 時 :平成 31 年 1 月 9 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 :関戸公民館 第 2 学習室

お客様 :渡辺貞一様

出席者 :22 名(会員数 27 名)

### 第 176 回 定例会

日 時 :平成 31 年 2 月 6 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 :関戸公民館 第 2 学習室

お客様 :相模原東ロータリークラブ

会長 佐藤康夫様、幹事 一戸徳雄様

出席者 :24 名(会員数 27 名)

## 理 念

1. 豊かな人生経験を生かし地域社会に奉仕する
2. 活力ある高齢社会を創造する
3. 会員同士の交流と意欲の向上をはかる
4. 非政治的、非宗教的、非営利的であることとする



ごあいさつ



### 「才能とは」

皆さんは 1 月の講話で渡辺貞一博士の執念に燃えた郵便番号読み取り機開発の話に感激されたと思います。このように発想力、豊かな才能はどのようにして生まれるのでしょうか?

ご存知の様に私と登坂征一郎会員はお台場の日本科学未来館でボランティアをしています。そこで感じる事は自分がやりたい事をきちんと心得ているかどうかと言う事です。渡辺博士も学生時代、入社時から自分のやりたい事が明確でした。ボランティア仲間の中での学生のお客さんの熱心さの評価は高専、専門学校、普通の学生の順です。すなわち目標をもって自分がやりたい事を心得ている順なのです。学歴や学校名はあまりあてには出来ません。学制の改革

小池博総務委員長



によるのか、やたらに博士課程のある大学が増え、就職できない博士が増えて困っている現状があります。

私が工場の設計課長として優秀な設計者を求めている時の経験では、優秀な設計者は学歴でもない、専門学科でもないという事です。私の専門の真空遮断器や真空開閉器の技術者の中で最も優秀だったのは青森工業高校機械科出身者でした。彼の開発した真空開閉器は東京電力(株)の柱上開閉器に採用されドル箱になり、真空遮断器



さんかく橋 (鎌倉街道と瓜生緑地を跨ぎ、貝取 2 丁目と永山 3 丁目を結ぶ)

は世界を制覇しました。また低圧から高圧の遮断器を同じ設計の機構で開閉できるような夢の万能機構を開発したのは茨城工業高校電気科出身の若者でした。あの頃の工業高校出身者は本当に優秀でした。

先日上野に行って上野の国立科学博物館で開催されている「日本を変えた千の技術」を見てきました。そこで思った事は明治から現代までの先駆者はまさに必死に勉強しているという事です。彼らの残されたノートからわかりました。ゆとり教育などで才能は生まれません。これらの先駆者の必死の思いを我々は勇気をもって後世に繋がないといけないのではないのでしょうか。

1. 幹事報告

鈴木泰弘幹事

1.1. 会員構成(敬称略)

平成31年1月1日現在

会員：27名 内休会1名(小西加葉子)

会友：7名(青木ひとみ、池田寛、片山満子、永島仁、蓮池守一、松永弘、山田喜一)

1.2. 東京八王子プロバスクラブ新年会に出席

1月10日(木)八王子エルシィにて

出席者：澤雄二、鈴木泰弘、秋山正仁各会員の3名。

・余興タイムは、数年前「南京玉すだれ」の大道芸を披露してくれた東京八王子プロバスクラブの下田泰造会員による圧巻の「バナナの叩き売り」で大いに沸いた。

1.3. 東京日野プロバスクラブ新年懇親会に出席

1月17日(木)立川グランドホテルにて

出席者：鈴木泰弘幹事・滝川益男研修・親睦委員長の2名。

・ショータイムは日野市在住の在日コリアン三世 崔栄(チェ・ヨンドク)さんによる朝鮮半島の民族楽器「チャンセブナ」の演奏で両国の民謡ほかの披露があった。

1.4. 東京八王子プロバスクラブ生涯学習サロン開講

第23回学習サロンが2月21日に開講、八王子エルシィでの開講式には多摩PCから澤雄二会長、鈴木(泰弘幹事・滝川(益男研修・親睦委員長の3名が出席した。

1.5. 第14回多摩市中学生俳句大会の作品展示

入選作品を短冊にして京王百貨店5階ギャラリーにて展示された。(1月24日～29日)

2. 委員会報告

2.1. 総務委員会

小池博委員長

1) 卓話について

卓話、講話については5月まで決定しました。6月については各委員会から1名ずつ出てください自由に10分間の卓話をいただくことになりました。

2) 15周年記念行事についての準備会議を研修・親睦委員会と合同で行い、2月13日には会場になるパルテノン多摩の会議室や宴会場となるトレーノ・ノッテの現地調査を行いました。

2.2. 研修・親睦委員会

滝川益男委員長

1) 1月14日(月)、バスツアー研修会「離宮と寄席と未来館」を実施した。参加者25名。午前中「浜離宮恩賜庭園」を散策し、築地玉寿司本店で昼食。午後は「寄席」グループと「未来館」グループに別れ、日本橋公会堂の落語寄席「大古今亭まつり」観賞と「日本科学未来館」見学を行った。

関連記事P3、4参照

2) お花見バスツアー「創価大と蔵元と魚市場」を企画。

3月28日(木)に実施の予定。

2.3. 地域奉仕委員会

上田清副委員長

1) 3月17日に予定していた「市民企画講座」は講師等の都合により中止とし、それに代わるものとして、5月22日の創立15周年記念式典の中で講演を行う。

2) 創立15周年記念事業の一つである「多摩寺子屋塾の創

設」に関しては、江戸しぐさ教室、多摩ニュータウン学習教室、男性茶道教室、男性料理教室、囲碁有段者教室、将棋教室などの実施案が出ており、今後は内容の具体化に向けた検討を行なう。

2.4. 広報委員会

北村克彦委員長

1) プロバスニュース第83号を3月6日(水)、発行・配布する。

2) 第83号からQRコードを挿入してスマホやタブレット等で容易にホームページにアクセスできるようにした。

3) これからも自由投稿をお願いします。

3. 東京多摩プロバスクラブに表彰状

澤雄二会長

うれしいお知らせです。2月9日、当クラブが多摩市社会福祉協議会から「地域福祉活動に多年にわたり尽力し、多摩市の福祉増進に多大な貢献をした」ことにより「社会福祉活動功労団体」の表彰を受けました。

当クラブは今年、創立15周年を迎えます。市民企画講座、ESD 出前授業、市民美術展、絆句会など市民との協働活動、募金活動(赤い羽根共同募金、歳末たすけあい運動)、市民コンサート等、社会奉仕を続けてきました。会員全員が個人でボランティアに汗を流しています。

これからも多摩プロバスクラブは人に優しい団体であり続けます。



2019.2.9  
受賞式

◆◆◆ 新入会員紹介 ◆◆◆

◇飯作金彦氏



1941年1月7日生まれ。中央殖産株式会社を創業、現在は日野法人会(会員1,549名)の副会長で、多摩地区会長(会員486名)でもあります。法人会の基本指針は「健全な納税者の団体」「よき経営者をめざす団体」「地域社会に貢献する団体」です。

会社は宅地建物取引業を中心とした企業を経営し、現在取締役会長として地域に信頼されております。人に何か頼まれたら決して嫌とは云わない素晴らしい方です。趣味はゴルフで毎週2回のプレーが何よりも生き甲斐だそうです。(秋山正仁会員記)

〔飯作金彦氏の一言〕健康に生きられていることは、何よりも有難し、酒も飲める、ゴルフも出来る。プロバスの例会は充実した人生の一ページ。

◇◇◇ 新入会員紹介(つづき) ◇◇◇

◇松山洋一氏



1981年2月9日生まれ。多摩市関戸4-6「スッキリ整骨院」の総括責任者として他の整骨医師5名をまとめ「明るく・元気よく」をモットーに患者に寄り添った治療に専念するとともに、地域

社会に密着し奉仕する精神を前面に活動しておられます。

(所敏行会員記)

〔松山洋一氏の一言〕多摩市に来て9年が経ちました。初めて関戸橋から見た多摩川の輝きは今も目に焼き付いています。地域を明るく元気に！！の精神で今日も頑張ります。

◇◇◇ 離宮と寄席と未来館 ◇◇◇

平成31年1月14日、「離宮と寄席と未来館」と題して新春バスツアー研修が行われた。

それぞれの参加者から寄稿いただきました。

1. 浜離宮恩賜庭園を散策して 飯作金彦会員

バスに同乗し初めての浜離宮を見学しました。ここは今でも、江戸時代の文化が残っています。周りは高層ビル群が立ち並び、進む都市化の中で良くぞ現在まで保存されている事に驚きました。

先ず、三百年の松です。幹が生い茂り、複雑な形で、管理の行き届いた素晴らしい盆栽の様でした。

「タブの木」を見かけましたが、この木は、潮風に強く又、火にも強いと伺い、この庭園を守るために植えられた人の知恵でしょうか。次に鴨場です。230年程前の人々の遊び心と工夫に心打たれました。適当な高さの土壁が築かれ鴨が泳げる幅に工夫されています。エサを欲しがると鴨が入ってきて飛び立つところを網で捕まえるのです。

庭園には、いくつかの池があり、東京湾の海水が混ざっている「潮入の池」と云って海水の池です。東京湾で水上バスが発船の音を鳴らし出発しました。今立っている所には、池の水の出入りを調整する水門があり、すぐ横は「新樋の口山」と云う小高い場所です。南の方向にはレインボーブリッジがたたずんで見えます。

他にも数軒のお茶屋、馬場跡、富士見山、将軍お上がりの場などの名跡があります、この庭園の終わりには、お花畑の満開の菜の花が私達を見送り浜離宮庭園の素晴らしさを堪能しました。



鷹の御茶屋の前で参加者の皆さん

2. 築地玉寿司から寄席へ 滝川益男会員

昼食の会場は築地玉寿司本店。店主は堀内会員の暮仲間である。この店は前夜13日NHK新番組「東京ミラクル」で全東京19万店から唯一の「築地魂」の店に選ばれ紹介され

ていた。参加者一同、ちらし寿司で築地魂を味わい寄席「大古今亭まつり」の日本橋公会堂へ。

珍しい昼間の寄席。名跡古今亭志ん生の若手弟子6人が共演。トリの古今亭菊之丞によれば、若き日の志ん生がNHK「いだてん」に登場しているという。寄席がはねて阪東照子会員がきんつばを差し入れに。ただそれはバスが出発した直後のことで間に合わず残念。でも真心は充分皆さんに伝わりました。

3. 新春研修親睦・落語三昧記 山田正司会員

折しも平成最終年に企画された、研修親睦旅行の寄席「大古今亭まつり」観賞での、私の独断と偏見に満ちた、大変身勝手な楽しみ方をご紹介します。そもそも私の育った田舎町では、落語は都会的でハイカラな娯楽であって馴染みが薄く、長じて上京してからも寄席には一度も行ったことがありませんでした。従って今回の経験は極めて新鮮で、かつ興味深い貴重な体験でした。

先ずは配られた「本日の番組表」には題名が記入されていないことに驚き、即興話なのかと思いつつ、私なりに内容を聞きながら、題名を推測する楽しさを味わいつつそれを空欄にメモしました。話の内容もさることながら、話し手の風貌にも魅せられてスケッチしてしまいました。扇子を使っての絶妙な所作までは画けませんでした。もうすっかり夢中になっていました。ふと我に返って横列に並んだプロバスマンメンバーを見ると、なんと居眠りをしている人がいて、人はそれぞれ、うらやましいとも勿体ないとも思

いました。

終演してホールに出たところで、「本日の演題表」が壁に貼ってあるのを見つけました。

私の推測とは外れもありましたが、これも落語の楽しみ方なのかと、その粋な計らいにまたもや感じ入った次第です。改めて、この企画・実施を担当された皆さんに心から感謝します。



山田会員のスケッチ

◇◇◇ 離宮と寄席と未来館(つづき) ◇◇◇

日本科学未来館の5人

落語観賞グループから分かれた5人(澤、西村、鈴木達夫、瀬尾、小池各会員)は日本科学未来館に向かいました。

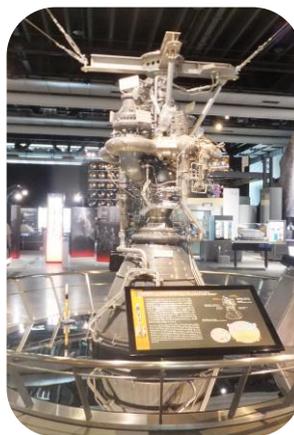
まず世界に誇るH2A ロケットエンジンの説明から始めました。そのH2A ロケットで打ち上げられた金星探査衛星

「あかつき」の失敗と成功譚そして地球の兄弟星ながら途中でぐれてしまった死の星金星の恐ろしさや失敗を克服したJAXAの若人の優秀性などを説明しました。

次に深海の話、深海1500mで捕獲した雄雌の蟹の生態、海底6500mまで探査可能な世界一の性能を持つ「しんかい6500」の活躍や地中一万メートルまで掘削してマンツルの秘密を解き明かし海底資源の調査に活躍している船「ちきゅう」を説明。

次は放射線 $\alpha$ 線、 $\beta$ 線、ミュー粒子など放射線が目視できる霧箱を見て頂き、この世の中は放射線だらけで、放射線ゼロの世界は死の世界であると言ったお話をしました。

小池博会員



H2A ロケットエンジン

そして2件のノーベル賞に輝くカミオカンデの説明をしました。澤会長は大変勉強家で鋭い質問で説明者の小池を困らせました。

澤さんだけはホンダが開発した将来の移動システム「ユニキャブ」に乗りたいたいと言う事でトライしましたが、いい所を見せようとしたところ、レッドコーンをなぎ倒し、お嬢さんに抱え起こされると言うアクシデントで楽しませてくれました。

(小池博会員 ; P6の「日本科学未来館」を参照)

◇◇◇ 講 話 ◇◇◇

郵便番号読み取り装置から住所認識装置の研究開発へ

渡辺貞一博士

私は京大時代世界的に高名な人々の講話を聴く機会があり、その中でもオープンハイマーやグレーサーの話やオートマトンの特別講義に魅せられました。

1962年東芝の中央研究所第1期生として入社し、情報分野のパターン認識の研究を希望しました。この研究はまさに黎明期で先生や指導者はなく、手探りで文字認識の研究を開始しました。

そうした中、万国郵便連合が、世界的に郵便物が増大を続け、手作業では手に負えなくなってきたので、国際的な郵便物の規格化と機械化を勧告(1965年)してきました。郵便の長さや幅、重さを決める定形郵便物制度(1966年)と少し進んだ制度として郵便番号制度の導入(1968年)を勧告し、自動化への取り込みが始まりました。

大きな社会ニーズを背景に、パターン認識の研究が実際に役立つ可能性の時代が来たのです。手書き数字認識の研究と装置の開発が始まりました。開発期間は1年です。全国から30万字の数字データの収集と記入枠の調査を行いました。3桁の赤記入枠が採用されました。数字の認識方法は、文字の構造特徴を抽出して認識する階層的特徴抽出法と柔軟なデシジョングラフ法を開発し、コンピュータ上にシミュレータを開発、認識実験を進めました。非常にきつい開発でしたが、研究がモノになって行くのを実感して、楽しんで仕事をしていく記憶があります。試作機の性能は、処理速度は毎秒6通、文字の認識率99%、書状の認識率95%でした。試作機が成功し、2年後に製品一号機が



東京中央郵便局に納入され我が国の郵便番号制度がスタートしました。

その後も、より進んだ汎用な認識方式の研究を進めました。その結果、認識率が大幅に向上するとともに、認識ソフトウェアを自動的に設計することが可能になりました。そして数字のみならず漢字、英字、かな文字、記号に対応できることになりました。

次に取り組んだテーマは、郵便物の配達区分の研究です。郵便番号を使って各郵便局から全国の主要な郵便局に区分して送る差立て区分から、受け取った郵便局から、宛先の家や企業ごとに郵便物を区分し配達する配達区分です。これは、宛名住所を読むという非常に難しい課題でした。まず、手書きおよび活字の漢字や英数字、かな文字、記号を読むという課題、そして記入枠がないこと、また多様なはがきや封書の形態・色・ラベル・窓付きなどがあり、縦書きや横書きもあります。それらの課題を住所の知識や人工知能的な判断を加えて、一つずつ解決し、手書きや活字の住所を読み取ることができるようになりました。

我が国は、このように世界一厳しい開発環境にあります。これを克服すると、極めて競争力のある高い技術や製品が生まれてきます。幸い、この郵便装置は世界に輸出され広く使用されています。

○渡辺貞一博士略歴

京都大学理学部物理学卒業、1962年東芝入社 中央研究所でパターン認識や画像処理の研究に従事、情報通信やマルチメディア、ソフトウェアの各研究所所長を経て、定年後は大学に奉職し、現在、高齢社会を支援するNPO法人「広域連携医療福祉システム支援機構」で奉仕中。

◇◇◇ 卓 話 ◇◇◇

写真で観る途上国の交通状況とシニア等を含む  
各種事故防止

所敏行会員

○ 資料作成に至った経緯

独立行政法人「国際協力機構」において、青年海外協力隊員及びシニアボランティア等の交通事故防止研修及びバイクの実技指導に従事。



海外出張の際は、途上国の交通状況をつぶさに視察し、派遣前現場の写真を撮影して、派遣前研修等で活用した。

派遣前及び派遣先現地でも、警視庁白バイ訓練所の白バイ教官の経験を活かし、バイクの実技指導を実施して来た。

○ セミナー内容について

(事前に撮影した写真による途上国の交通状況と対策)

- ・交通事故の発生は、被害者・加害者そしてその家族まで人生を狂わせてしまう取返しのつかない哀しい出来事です。事故は一人だけの問題ではありません。多くの関係者に多大な心配と心に負担を与えます。事故当事者には三つの責任が生じます。①刑事罰(罰金、懲役等) ②行政罰(免許取り消し、停止等) ③民事罰(損害賠償等)
- ・交通事故に遭わないために大事なことは注意力の発揮です。歩行中も運転中も安全確認の徹底を図る。常に「目線は高く、遠く」
- ・ご自分の身の安全確保のために周囲の状況把握 ①振り返る ②振り返る向く習慣を!
- ・事故多発国の主な原因は、①劣悪な道路環境 ②法整備

の不備と取り締まり ③交通教育の不徹底 ④整備不良車両の走行 ⑤遵法精神に起因するもの ⑥思いやりの精神不足

- ・バスに乗車する際の比較的安全な座席場所は、「真ん中より後ろ」
- ・乗車時はどの席でもシートベルトの装着を!
- ・途上国における事故発生の要因は、歩行者、運転者に対する交通安全教育の不徹底
- ・途上国のドライバーの車両性能把握不足に伴う事故発生(ドライバー降車時、サイドブレーキ不使用のため車両が移動)
- ・交通事故に遭遇しないために知っ得 ①目線の近い人は目からの情報収集が遅れ、状況判断が遅れ事故に遭います。②目線を上げて事故防止を; 胸張り、上脛に意識を持ち大股で歩く習慣を!
- ・大型車の内輪差の脅威; 内輪差事故から身を守るために ①大型車とは併走しない ②大型車とは並ばない ③停止中の大型車がある場合、前方あるいは後方に位置する
- ・シニアの事故事例と防止対策; 事故原因を知ること ①加齢による集中力、注意力、判断力の低下 ②視覚、聴覚の衰え
- ・シニアの起こし易い事故; ①出会い頭 ②駐車場の出し入れのバック ③アクセル、ブレーキの踏み違い
- ・シニアの事故要因; ①身体機能低下 ②判断力、注意力、集中力等の低下 ③長年の慣れで身に付いた悪い運転癖 ④安全確認が不十分によるもの 以上

◇◇◇ サークル活動 ◇◇◇

からまつ新年句会

増山敏夫会員

1月19日、新年一切の2句を持ち寄り、「からまつ」東京地区新年句会が関戸公民館で行われ、30名の盛況でした。お菓子や賞品も沢山用意され、新年句会らしい華やいだ雰囲気でした。選句各3句(役員5句)で行われ、上位句は以下の通り、さすがに新春らしい秀句が並びました。

- ① わが余生神にあづけて屠蘇祝ふ 高 木和子
- ② 仕事始めの糊付け固き白衣かな 関戸 氷子
- ③ お年玉受け取るまでの正座かな 高 木和子
- ④ 寒晴れやけやき大樹のゆるぎなし 金沢 風花
- ⑤ 初場所や頬に面炮の勝力士 山崎 小春

(石川春兔主宰 天)

- ⑥ メイドインジャパンの身体若菜粥

清水 鈴樹

- ⑦ 老いてなお夢は無限と初日記 和哥月梗香
- ⑧ 青空にみられてしまう初みくじ 藤本かず美

(由利雪二名誉主宰 天)

②と⑥の句は「上手い!好み!」と私も選んだ句です。

②の作者、関戸氷子さんは、春兔主宰と「花かたくりの

会」を立ち上げておられる実力者。昨秋、島村豚舟さんと絆句会に入会されました。

絆句会参加6名の当日の一句を紹介しておきます。それにしても新年句会ではいつも好成绩を上げておられた倉賀野志水さんの名前がここに無いのは寂しい限りです。

- |                |       |
|----------------|-------|
| 寒暁や月と金星ランデブー   | 北村 岳人 |
| 光差す社殿の床几淑気満つ   | 川久保魚水 |
| 日ざらしに蠟梅の香も艶やかに | 島村 豚舟 |
| 伊勢の海風て初日を抱きけり  | 滝川 露枝 |
| 冬桜どこ吹く風と百羅漢    | 登坂 爽風 |
| ワンテンポ遅れ呑込む初笑い  | 増山胡桃子 |



## 1. 日本科学未来館

小池博会員

私、小池と登坂会員は宇宙飛行士の毛利衛さんが館長を務める日本科学未来館にボランティアとして毎週1回通っています。日本科学未来館は2001年7月開場しました。

将来の技術や現在使用されている最新技術を紹介する博物館としてスタートした世界でも特異な存在になっています。大学の非常勤講師時代の同僚から勧められて応募、ボランティア解説員として採用されました。現役時代の専門がエネルギーと環境だったのでピッタリの内容でしたが、毛利館長の「この未来館では自分の技術の幅を広げる努力をしてください」とのアドバイスが気に入り、現在は宇宙や深海あるいは地球そのものについて勉強してその方面の解説をしています。この方針は技術経験者にはぴったりと考え、登坂会員や東芝時代の同僚などを勧誘しました。



その登坂会員から「柁助」を紹介され、その延長としてプロバスに入会したと言う訳です。

未来館ボランティアにはお客様とお話ができるという楽しみの他に、ボランティア仲間で飲み会、見学会が盛んに開催され、これもプロバスクラブ同様、人生を豊かにしてくれています。

写真は「しんかい 6500」のレプリカの中の私です。

## 2. 多摩市新春歩こう会

鈴木達夫会員

恒例の多摩市主催第37回新春歩こう会が1月27日(日)に開催された。

武蔵小杉駅近くの多摩川河川敷から午前11時にスタートし、川崎大師駅までの10kmに当クラブから北村、登坂、山田、鈴木(達)の4名の会員が参加した。

当日は快晴に恵まれ、絶好のウォーキング日和で、変わりゆく穏やかな多摩川の景色を楽しみながら、病み上りの私は多摩ウォーキングクラブの仲間とゆっくりと午後1時半に目標の川崎大師駅にゴールし、完歩できました。

ゴール後は川崎大師に1年の無事と健康を祈願しました。全体の参加者は約200人、10kmの歩数は約23,000歩でした。



多摩川河川敷の集合場所で待機の参加者達

## 3. 思いやりの心 江戸しぐさ

江戸しぐさ伝承者

滝川道子会員

「江戸しぐさ」は、和をもって良しとする江戸商人の実践哲学として存在しました。江戸商人(あきんど)のトップの意構(心構え)であり、惻隱の情(思いやりの心)から生まれたものです。

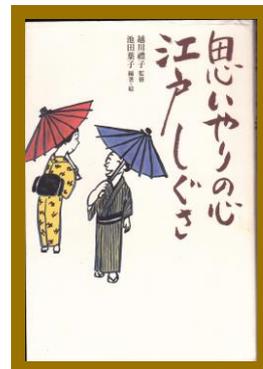


### ○ 江戸しぐさの本質は

- ・約束を守る
  - ・見て分かることは言わない
  - ・結界覚え(他人の領分は犯すなかれ)
  - ・自分と違う意見を尊ぶ(尊異論)
- といったこと。

江戸しぐさは、  
 ・して気持ちが良い  
 ・されて気持ち良い  
 ・見て気持ち良い  
 粋で素敵な「しぐさ」なのです。江戸では、人間一人で生きるということは考えられないのです。

「互角で向き合い、互角で付き合う」——これが江戸の共生です。そのための気遣い、心掛け、振る舞いが具体的に生きるすべ(仕方)として展開されます。心ある人ならいつでも今すぐ実行できるしぐさばかりです。江戸しぐさは、江戸っ子のくせなのです。(江戸しぐさ名誉会長 越川禮子『思いやりの心 江戸しぐさ』より)



### ○ 円滑に気持ちよく暮らす心得

・お互いさま

みんなで気持ちよく生きていくために「お互いさま」の一言を。

昔、江戸っ子達は「有難うございました」と言われたとき「いえいえ」ではなく、微笑みながら「お互いさま」と言ったそうです。みんなで気持ちよく生きていくのにやらなければならないことをしただけ、と。いわば共生の精神です。

そして笑顔こそ、その最大の力です。

かれこれ30年から40年くらい前まででしょうか、荷物を持って電車やバスや都電に乗っていると、よく目の前に座っているひとが「持ちましょうか」と膝の上に預かって置いてくれたものです。それがいつの頃からか「持ちましょうか」の声は聞かれなくなりました。

ある日、私も電車の中で前の若い女性に勇気を出して「お持ちしましょうか」と声をかけました。その女性はびっくりしたように「結構です」とお断りになりました。少し寂しい気持ちになりましたが、また機会がありましたら言葉をかけてみたいと思います。

笑顔を忘れず、笑顔に出会うまで!

次回は「おかげさま」です。

## 1. 「平成」の次は

鈴木泰弘会員

4月30日 今上陛下のご退位に伴い、5月より新時代となります。その前4月1日に発表される新元号が、何になるか興味が湧きます。

思えば昭和 63 年秋頃から、早いご快復を祈りながらも社会の空気が大変重苦しくなっていたものでした。音楽業界にいたため歌舞音曲のたぐいは自粛ムードの中で、エレクトーンコンクールは小規模に内輪で済ませたり、各コンサートも延期・中止となったりしました。

出張中の富山のホテルで迎えた昭和 64 年正月 7 日の早朝、枕元のラジオで天皇のご崩御の報に接しました。仕事の関係で北陸三県の新聞社に挨拶回りを予定していましたが富山、北國、福井新聞社とも異様な状況でとても挨拶どころでなく号外をもらって早々に帰社したものです。そして午後小渕官房長官の「新しい元号は平成であります」の発表で、その出典が「史記 五帝本記」から「内平らかに 外成る」「書経」から「地平らかに 天成る」にあることを知りました。どちらも年号の出典としてなじみ深いオーソドックスな漢籍から選ばれたと言います。

調べてみると大化から平成までの 1375 年間に、247 の元号が登場し 504 の漢字が使われ、明治、大正、昭和も同様の経緯で、数多くの候補案の中から選ばれており、ちなみに「明治」は 11 回目「大正」は 5 回目「平成」は 2 回目に採用されたという。

これまでの元号(247)に使われてきた漢字で頻度上位 10 字は、保 寛 仁 曆 安 延 応 治 永 文 という。では新元号は何になるのか、有識者やその著作物、マスコミの記事など色々参考にしながら考えてみます。

元号は①良い意味を持ち②漢字二文字③書き易く読み易い④出典がはっきりしている⑤俗用されていない⑥企業名など固有名詞と合致しないことが考慮されるという。

そして意外にも現代はデジタル社会でありローマ字表記で混乱のないよう、⑦その頭文字が M・T・S・H でないことが望ましいとのこと。

以上典拠の中の良い言葉文字を組み合わせて新時代に相応しいものが選ばれるのではないかと見てみると候補は、永安 延寿 延仁 寛安 観徳 慶永 慶延 建文 康德 弘徳 光文 淳徳 順安 順明 など……か。



夜景の二重橋(年末一週間点灯される)

## 2. 貧女の一灯

滝川益男会員

生まれて初めて「街頭募金」を経験した。1 時間足らずの奉仕活動だったが、かけがえのない経験となった。

多摩市の社会福祉協議会から「赤い羽根共同募金」への協力依頼が来たのは昨年の 10 月。最初に手を挙げたのが堀内陽二会員だった。続いて澤雄二会長が手をあげ、お二人が駅頭に立った。自分とはといえば、仕事やら遊びやらで、正直、共同募金など眼中になかった。12 月、同協議会から「歳末助けあい運動」街頭募金への協力依頼がきた。集めたお金は貧困や孤食を防ぐ「子ども食堂」や「だれでも食堂」の支援に使われるという。再びご高齢の堀内会員が再び手を挙げた。よし自分もやってみようか、思い切って申し出た。

12 月 6 日、師走の街に立つ。聖蹟桜ヶ丘の駅頭、募金箱を胸から下げて「ご協力をお願いしまあーす」——寒風のもと、忙しなく歩き去る人々に呼びかける。20 分ほどたってようやく声も出るようになった頃、行き過ぎたご婦人が引き返ってきて、コインを一枚入れてくれた。なぜか胸が熱くなった。会員の方々が激励に来てくれた。増山敏夫会員が杖を突いて、大澤亘副会長と鈴木泰弘幹事が連れだって……。新入会の松山洋一会員も……。嬉しかった。やがて高齢の紳士がお札を一枚押し込んでくれた。

募金の終了時が近づいた。ゆるキャラの「タマボラ君」が傍らに立った。と、バスから降りた幼稚園児が歓声をあげて走り寄り、丸いタマボラ君のお腹に抱きついた。嬉々としたその姿に思わず眼がしらが熱くなり、なぜか心が洗われたように感じた。



幼稚園児とタマボラ君

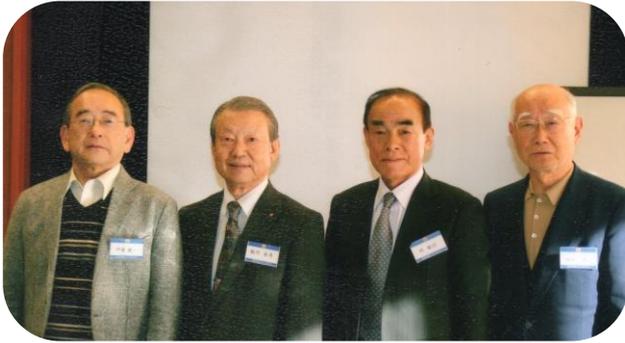
(写真は多摩社会福祉協議会提供)

箱に貯まった額はごく僅か。だがそれは善意の結晶である。仏典にも説く「貧女の一灯」である。以来、子供たちを無性に可愛く感じるようになった。つい先日、八王子に住む息子夫婦が言ってきた。「小学生の孫たちに英語を教えてくださいませんか」

心洗われる奉仕活動に感謝、感謝である。

◇◇◇ ハッピーバースデー ◇◇◇

1. 1月誕生日を迎えられました！



左から伊藤健一・飯作金彦・所敏行・堀内陽二各会員  
 伊藤氏一言；古希迎え、日に日に新たに、今ここから前進！  
 飯作氏一言；入会が思い出に残る誕生月、頑張ります！  
 所氏一言；健康に留意し、日々前進の闘志を燃やす。  
 堀内氏一言；まさかの米寿を迎えお祝い頂き感謝あるのみ！

2. 2月誕生日を迎えられました！



左から小池博・松山洋一・山田正司各会員  
 小池氏一言；誕生日を期になんにでも「そうだね」と答える事に。  
 松山氏一言；皆さんに歌って頂き感動の一言です。頑張ります！  
 山田氏一言；寒さに閉口「冬来たりなば春遠からじ」の心境。

◇◇◇ 編集後記 ◇◇◇

待ちわびた春は、もうすぐ其処。本号は活発な委員会活動報告から、多士済々会員のご意見、ご活躍ぶり満載です。事前にお願ひした自由投稿花盛りで、作業が増えて、うれしい編集者泣かせの第83号です。

○小池博会員のごあいさつ「才能とは」は、ご自身の実体験からのするどい洞察力によるご意見で、説得力絶大なり。

○新入会員の紹介では、飯作金彦、松山洋一両氏のご登壇で、当クラブに更なる活気が生まれることに、大いに期待。

○新年早々の研修親睦バスツアー「離宮と寄席と未来館」は、その後もたくさんの自由投稿をいただき、その人気の高さが証明された。25名もの参加でミニバス満席、ツアーの盛況ぶりが伺えよう。

○相変わらず、会員のクラブ外での活動が盛んなのは、当クラブの誇りなり。俳句サークルの絆句会は特に活発で、皆さん俳人の域に到達と推察。シリーズ・「江戸しぐさ」には、改めて教えられることがなんと多いことか。

○渡辺貞一博士の講話では、最先端での、わが国郵便配達の正確性、効率化への、並々ならぬご努力ぶりに感服しきり。

○所敏行会員の卓話は、発展途上国の、最悪の交通状況との対比によって、巧みに、われわれシニアへの教訓、啓示を与えてくれたことに大いに感謝。

○自由投稿に協力してくれた鈴木(泰)、滝川(益)両会員の内容は、共に個性豊かなすばらしい内容揃い。プロバニュース充実化への貢献度は多大なり。

この2回の募金活動を含めた地域奉仕活動に対して2月9日多摩市社会福祉協議会から当クラブは「地域福祉功労団体」を受賞。感謝！（広報委員 山田正司会員記）

◇◇◇ 東京多摩プロバスクラブソング ◇◇◇

作詞 池田 寛  
 作曲 中村 昭夫

聖の桜仰ぎつつ 多摩の流れに身を清めて  
 緑の杜に囲まれた 我が故郷の行く末と  
 社会奉仕に力をそそぐ  
 集う我等プロバスクラブ  
 プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

霊峰富士を仰ぎつつ 心の業を磨き合い  
 豊かな知識身につけて 次の世代の若人の  
 教え導く糧となる  
 集う我等プロバスクラブ  
 プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ



暖冬の桜が丘公園と旧聖蹟記念館（山田正司会員 画）